



## JR東労組東京地本第37回再建大会で出された意見

### その2

- 就業規則の変更がどう運用されていくのか？もっと情報が欲しい。
- 職場集会に来てほしい。何でも言い合える場をつくってほしい。
- 社員の人数に関係なく、コロナを踏まえ、安全衛生について議論する場を講じるべきだ。
- 雇用不安だけは立ち向かっていかなければならない。
- 相手が悪いと相手のせいにするのではなく、誹謗中傷しないこと。  
組合員の意見を聞くこと。信頼を得ることを心がけるべき。
- 60/100なんてケチなことは言わずに、他企業にも雇用先を見いだすべきだ。
- 職場には労使関係なんてない。労使で話をしようとする現場協議はないから帰れと言われる。挨拶も立ち話程度だ。一切会社から相手にされない。もっとJR東労組の必要性を示すべきだ。
- なぜ残ったかという、役員であったからストライキをやらせる側だったが、格差ベアでストライキを打つべきものなのか疑問があった。東京の不当労働行為という総括は納得できない。本部の18春闘は大敗北という総括には感銘を受けた。

大会で出された意見や職場の組合員の声を基礎に  
働きやすい職場をみんなで作っていきましょう！